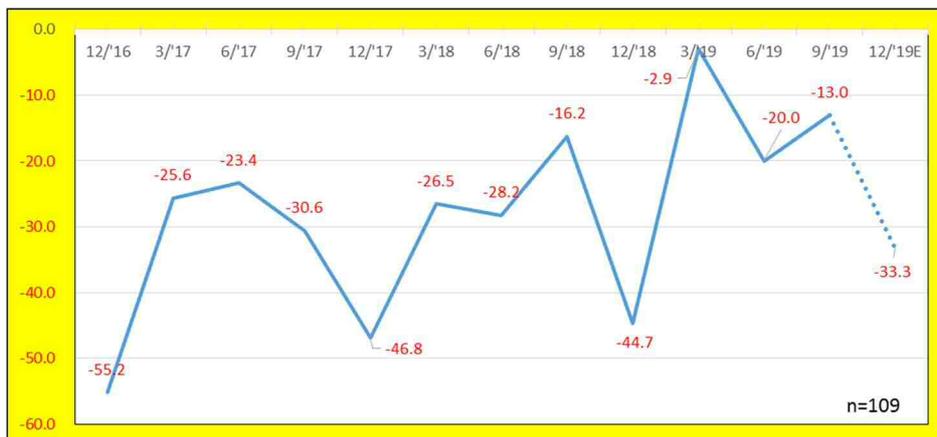


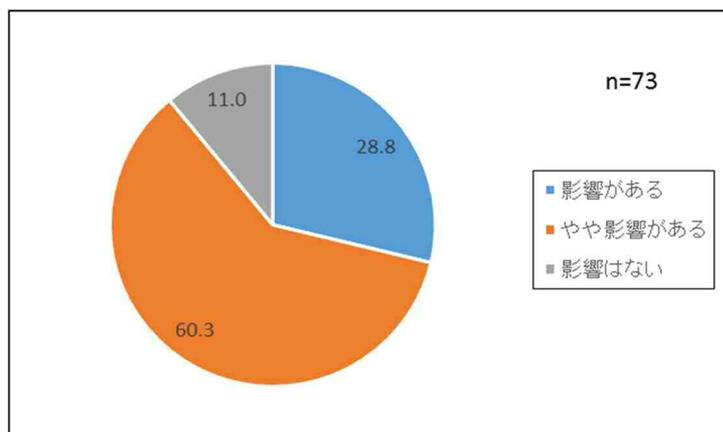
# 第 78 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書 2019 年 10 月

## 要点

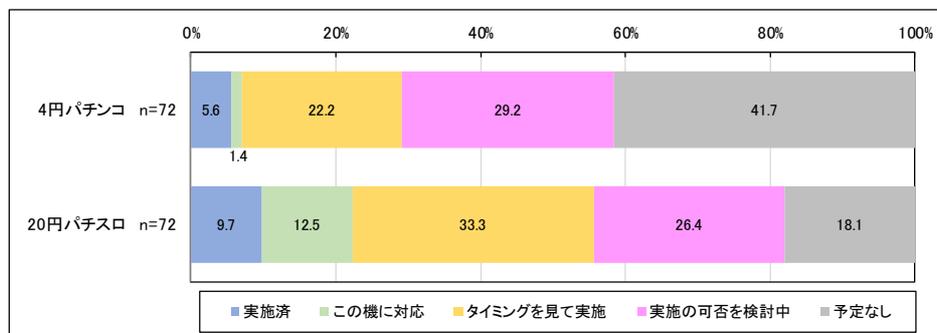
### ■ 全般的業況の推移: 回復が見られるも、3 カ月後は大幅に悪化



### ■ 2019 年消費増税の影響: 「影響がある」がほぼ 3 割



### ■ 外税化対応: 「予定なし」がパチスロは 2 割以下、パチンコは 4 割程度



#### ◇ 回答状況

74 企業、109 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

# 主要指標数値(DI 値)結果

## ■資本投資機運は遊技機、設備ともにプラスに転じる

「全般的業況」は▲13.0ポイント(前回比7.0良化)まで回復したが、3カ月後は▲33.3ポイントと大幅に落ち込む見通しである。

「稼働状況」は、パチンコ▲45.5ポイント(前回比3.6悪化)、パチスロ▲16.9ポイント(前回比13.2悪化)となった。3カ月後の稼働状況の見通しは、パチンコ▲50.5ポイント、パチスロ▲26.5ポイントとなっている。

「資本投資気運(遊技機)」は8.9ポイント(前回比25.6良化)とプラスに転じ、3カ月後は19.4ポイントまで回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」も1.2ポイント(前回比5.8良化)とプラスに転じ、3カ月後は15.2ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲35.5ポイントから▲44.2ポイントまで悪化、3カ月後は▲48.2ポイントまで落ち込む見通しである。

### 【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 →  →  -20.0 → -13.0 → -33.3	 →  →  -41.9 → -45.5 → -50.5	 →  →  -3.7 → -16.9 → -26.5	現状は引き続き雨 見通しは雷雨に悪化
2. 稼働状況 (パチンコ)	 →  →  -16.7 → 8.9 → 19.4	 →  →  -4.6 → 1.2 → 15.2	 →  →  -15.0 → -10.7 → -19.3	現状は曇りに良化 見通しは薄曇りに良化
3. 稼働状況 (パチスロ)	 →  →  -35.5 → -44.2 → -48.2			現状は引き続き曇り 見通しは薄曇りに良化
4. 資本投資気運 (遊技機)				現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
5. 資本投資気運 (その他設備)				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
6. 不足感 (営業用設備)				
7. 不足感 (雇用人員)				

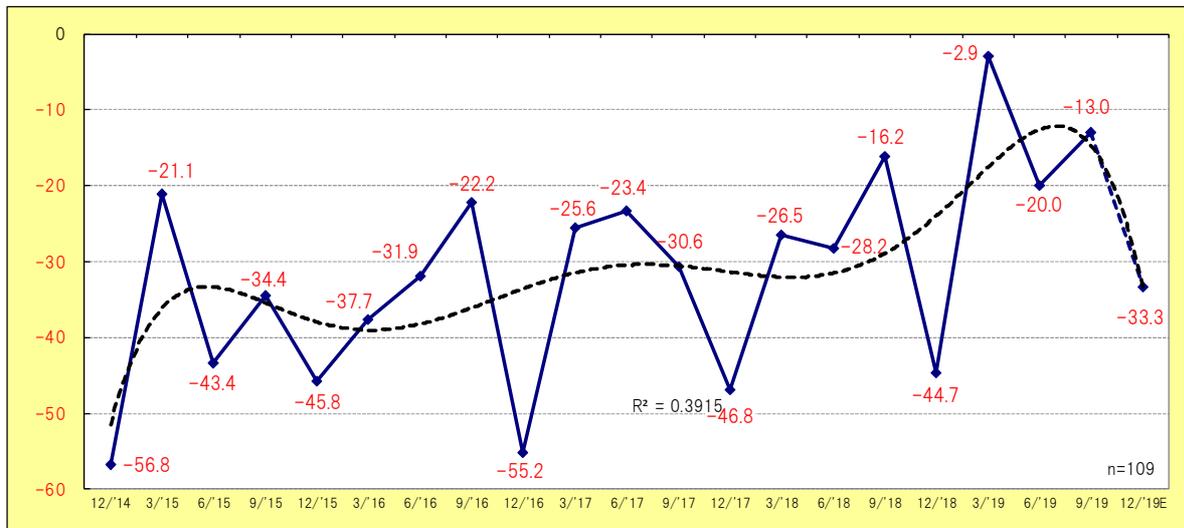
凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

# 全般的業況(事業者全体)

注: 2019年12月期(12/'19E)の数値は見通し

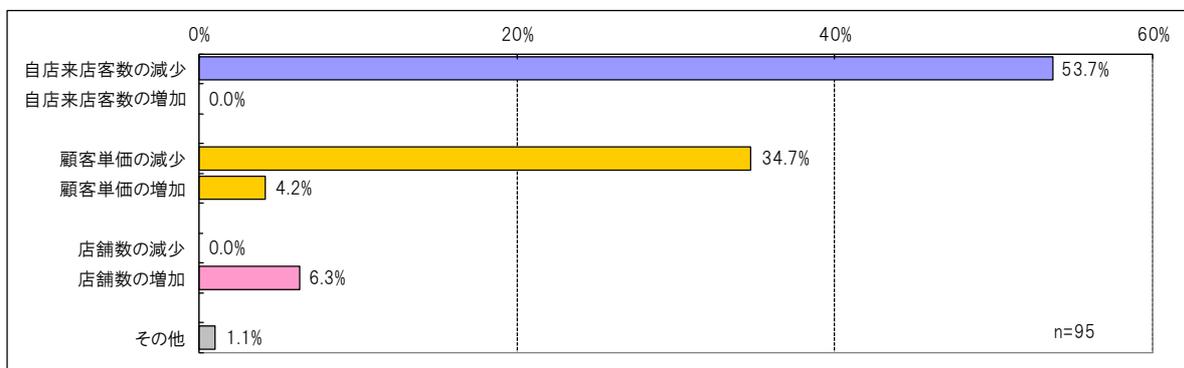
## ■全般的業況:回復が見られるも、3カ月後は大幅に悪化



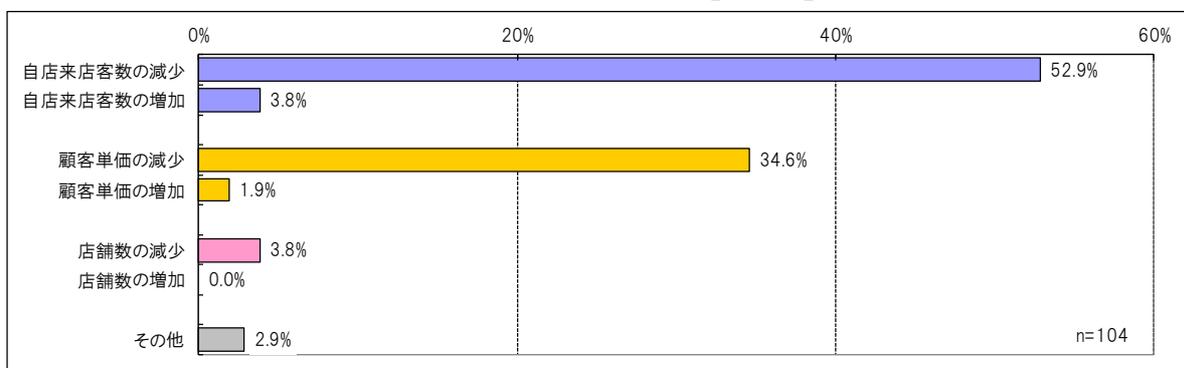
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲13.0ポイント(前回比7.0良化)まで回復した。3カ月後は▲33.3ポイントまで大幅に落ち込む見通しである。

## ■全般的業況の悪化理由:現況と先行きで「来店客数の減少」が5割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



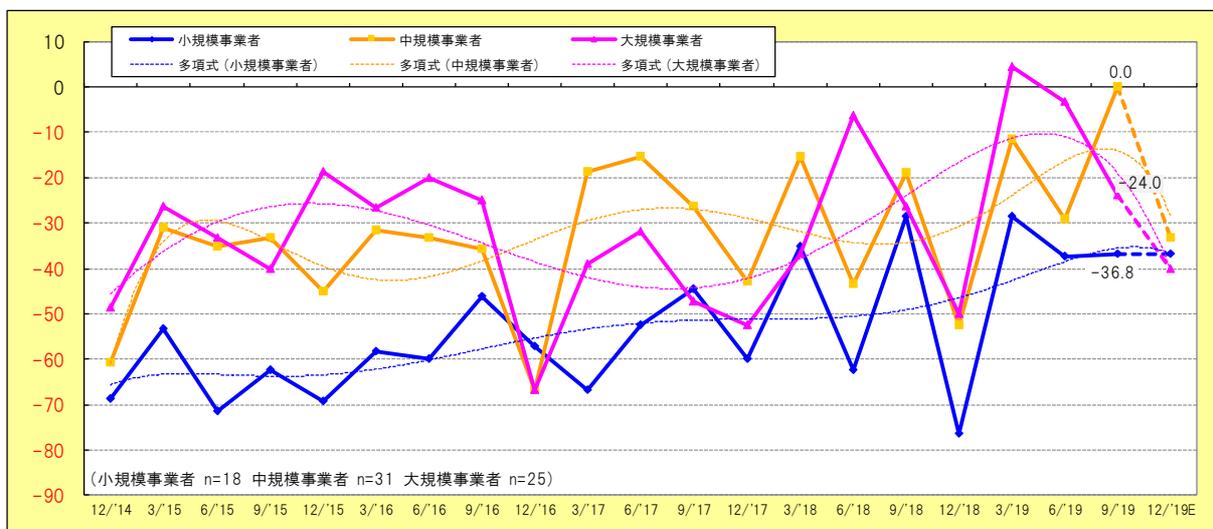
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



# 全般的業況(規模別・地域別)

注:2019年12月期(12/'19E)の数値は見通し

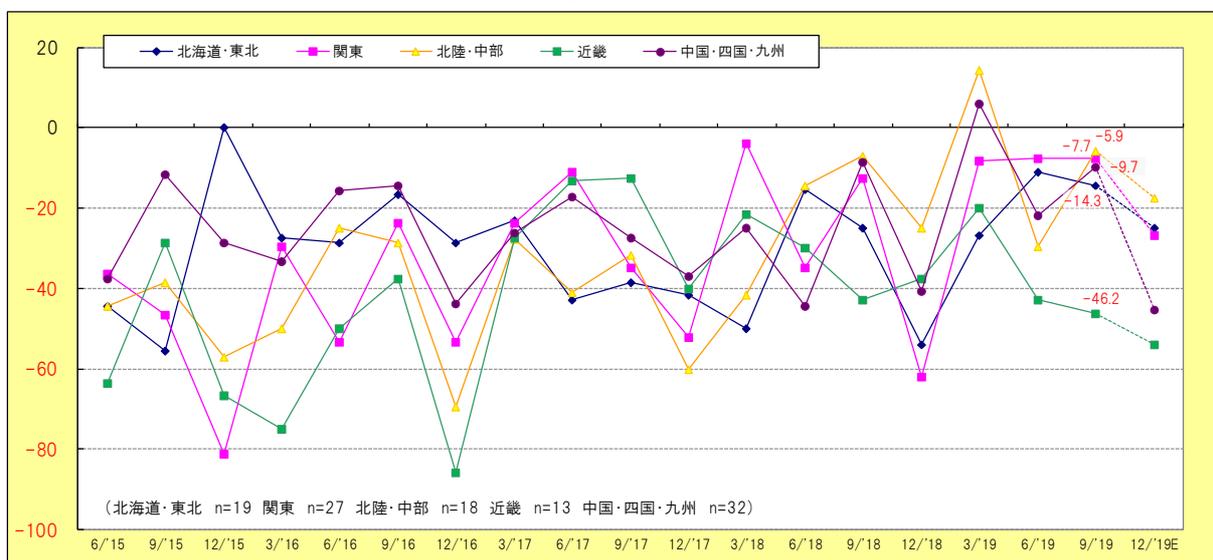
## ■全般的業況(規模別):中規模は大幅に回復も、大規模は大幅に落ち込む



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3店舗)が▲36.8ポイント(前回比0.7良化)、中規模事業者(4~10店舗)が0ポイント(前回比29.0良化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲24.0ポイント(前回比20.8悪化)となった。

中規模事業者では業況が大幅に回復するも、大規模事業者では大幅に落ち込みが見られた。3カ月後は中・大規模事業者で落ち込む見通しである。

## ■全般的業況(地域別):近畿のみ業況の不調が目立つ

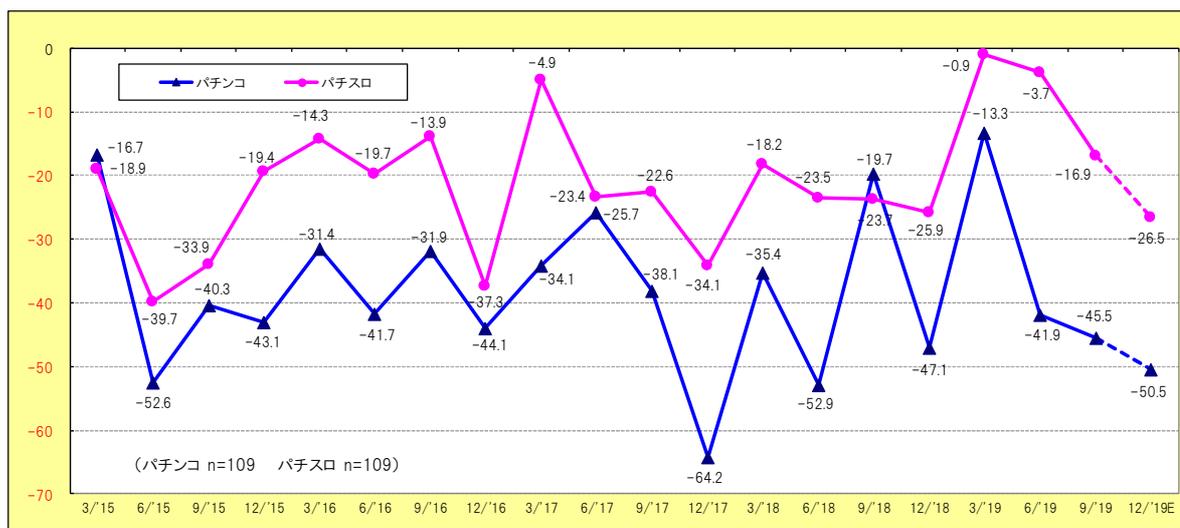


地域別で最も業況が良かった地域は、北陸・中部で▲5.9ポイント(前回比23.7良化)となった。以下、関東で▲7.7ポイント(前回比±0)、中国・四国・九州で▲9.7ポイント(前回比12.2良化)、北海道・東北で▲14.3ポイント(前回比▲3.2悪化)、近畿で▲46.2ポイント(前回比3.3悪化)となった。近畿のみ業況の不調が目立っている。

3カ月後は全地域で悪化する見通しだが、なかでも中国・四国・九州は落ち込み幅が大きくなっている。

# 稼働状況(事業者全体) 注:2019年12月期(12/'19E)の数値は見通し

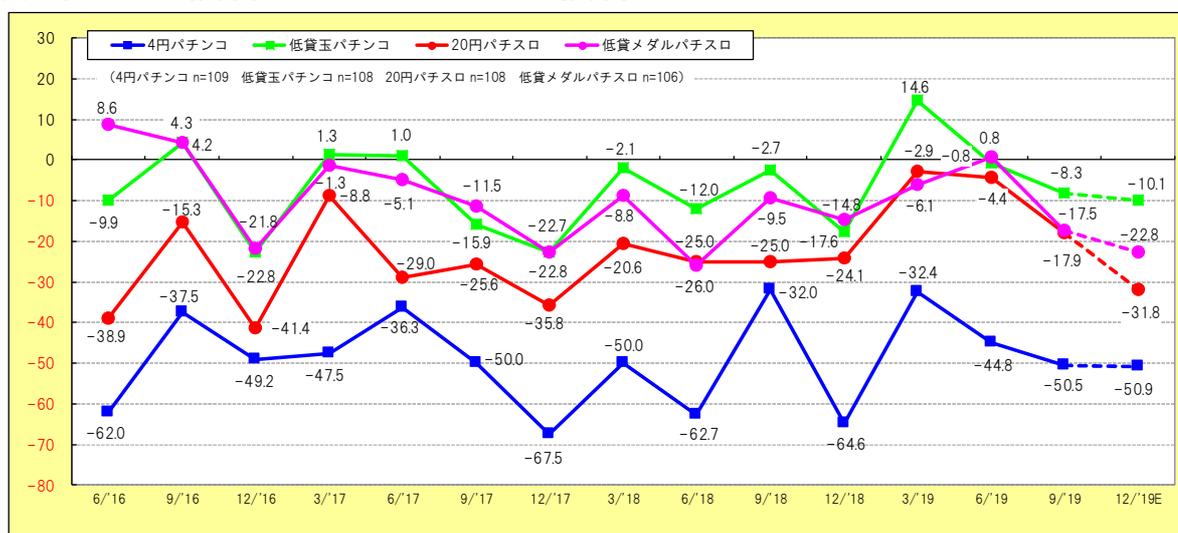
## ■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ・パチスロともに見通しは悪化



パチンコ稼働状況は▲45.5ポイント(前回比 3.6悪化)とやや落ち込んだ。3カ月後は▲50.5ポイントまでさらに落ち込む見通しである。

パチスロ稼働状況は▲16.9ポイント(前回比 13.2悪化)、3カ月後は▲26.5ポイントまで落ち込む見通しである。

## ■ 稼働状況(遊技料金別):すべての遊技料金で悪化



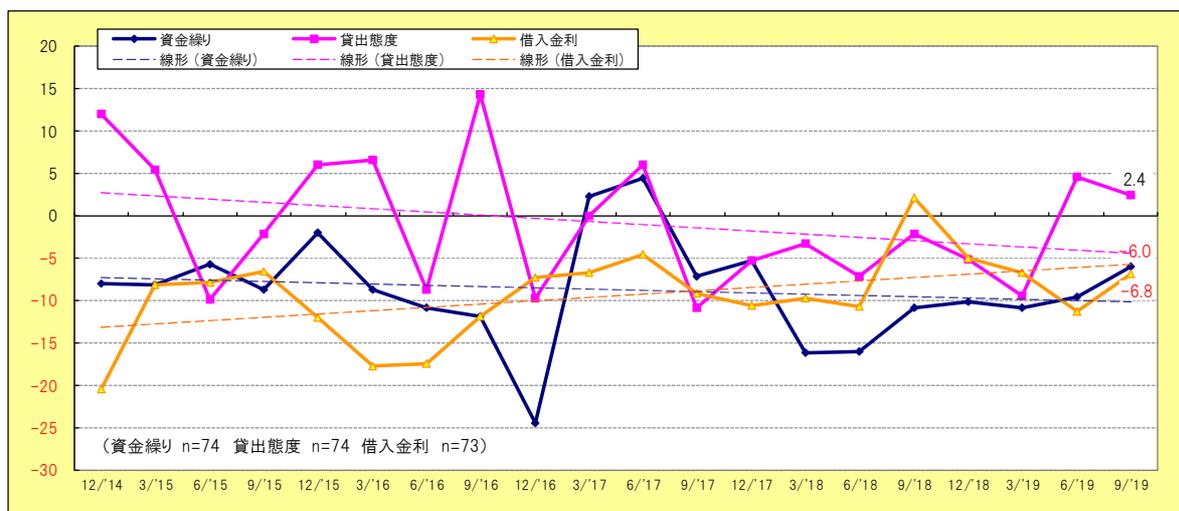
遊技料金別の稼働状況について、すべての遊技料金で落ち込みが見られた。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコの稼働状況は▲50.5ポイント(前回比 5.7悪化)まで落ち込んだ。3カ月後は▲50.9ポイントと概ね現状維持となる見通しである。20円パチスロは▲17.9ポイント(前回比▲13.5悪化)まで落ち込んだ。3カ月後は▲31.8ポイントまで落ち込む見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲8.3ポイント(前回比 7.5悪化)、低貸メダルパチスロは▲17.5ポイント(前回比 18.3悪化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは▲10.1ポイントと概ね現状維持、低貸メダルパチスロは▲22.8ポイントまで落ち込む見通しである。

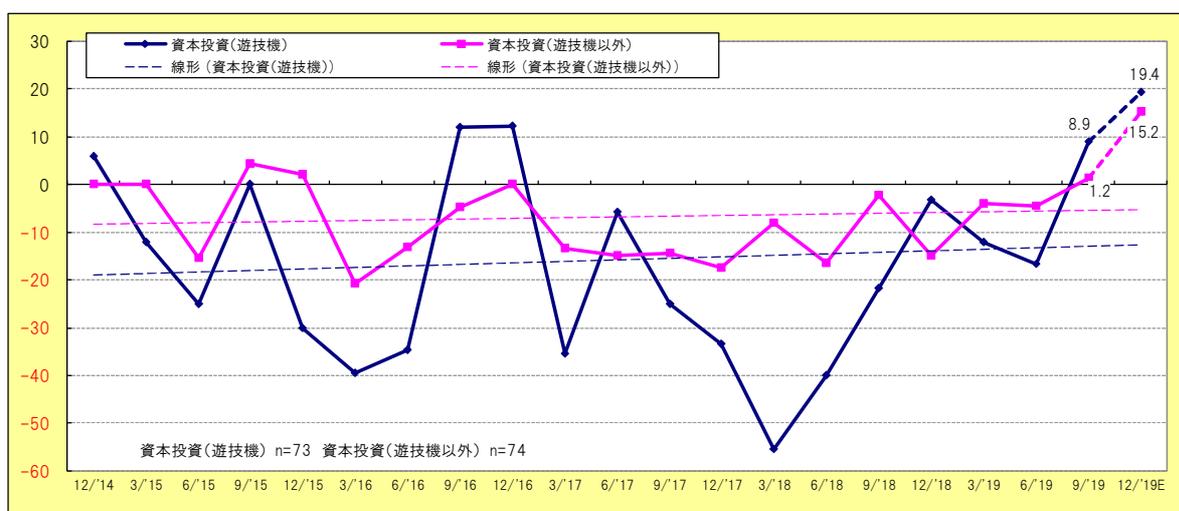
# 経営の現状(事業者全体) 注: 2019年12月期(12/'19E)の数値は見通し

## ■ 企業金融: 資金繰りと借入金利はやや回復、貸出態度はプラスを維持



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲6.0ポイント(前回比 3.6 良化)、「貸出態度」2.4ポイント(前回比 2.2 悪化)、「借入金利」▲6.8ポイント(前回比 4.5 良化)となった。

## ■ 資本投資気運: 遊技機と遊技機以外のどちらもプラスに転じる

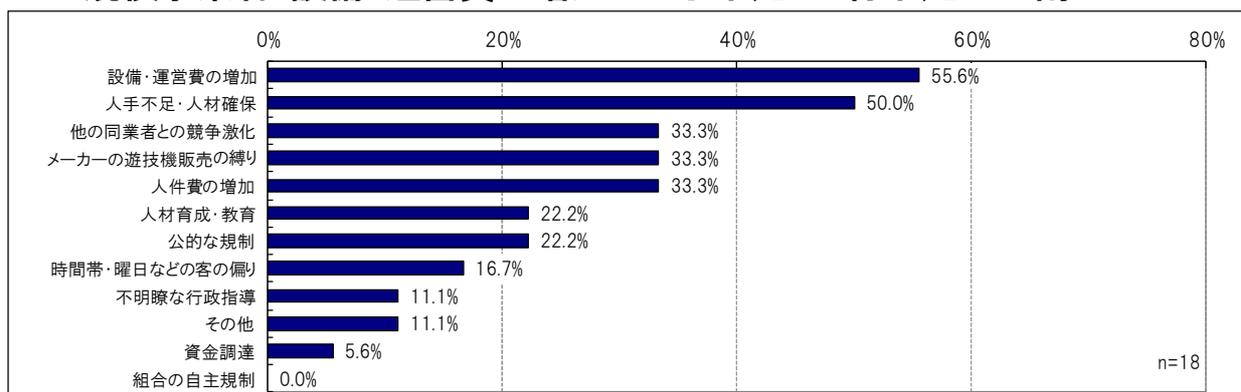


今回の「資本投資気運(遊技機)」は 8.9ポイント(前回比 25.6 良化)となりプラスに転じた。3カ月後には 19.4ポイントまで回復する見通しである。

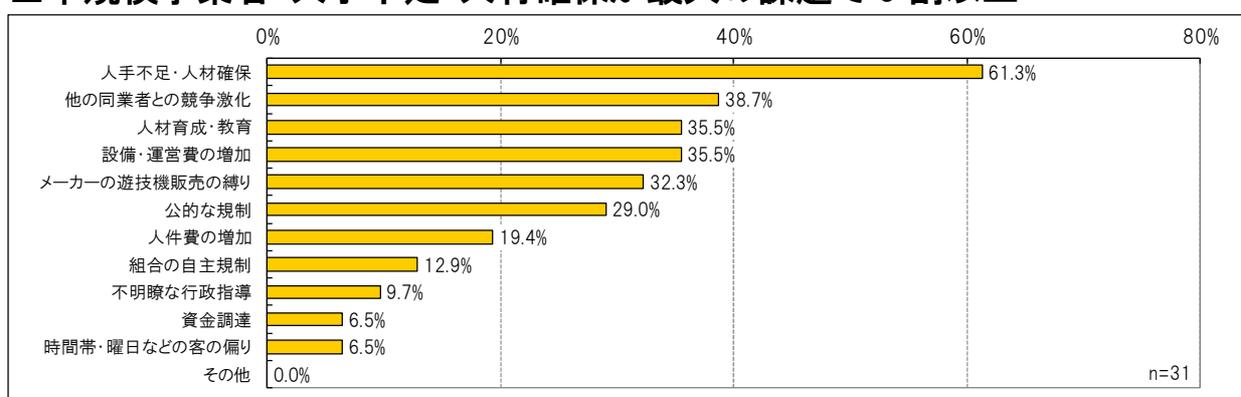
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は 1.2ポイント(前回比 5.8 良化)とプラスに転じた。3カ月後は 15.2ポイントまで回復する見通しである。

# 経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

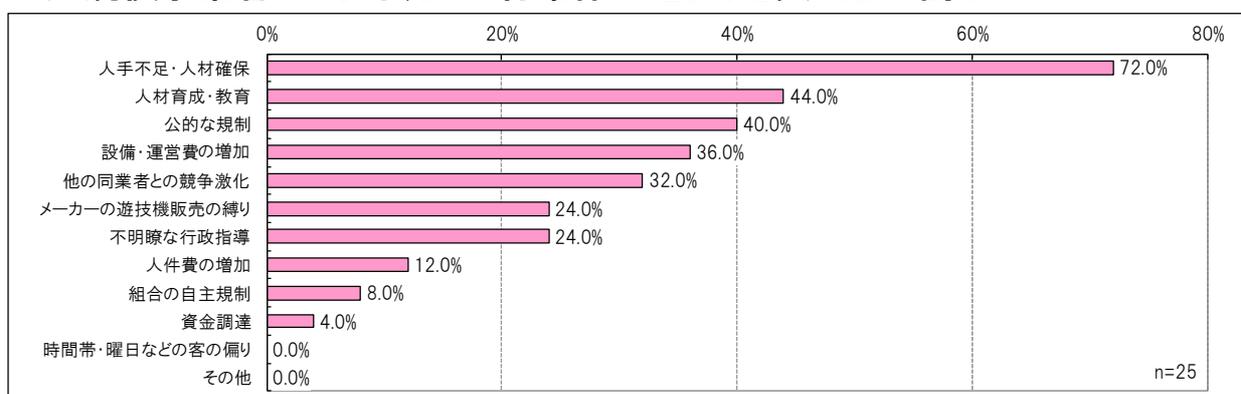
## ■小規模事業者:設備・運営費の増加と人手不足・人材不足が5割以上



## ■中規模事業者:人手不足・人材確保が最大の課題で6割以上



## ■大規模事業者:人手不足・人材確保が他よりも突出し7割以上



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)では「設備・運営費の増加」が 55.6%と最も高い。続いて「人手不足・人材確保」(50.0%)が高くなっている。

中規模事業者(4~10 店舗)も小規模事業者と同様に「人手不足・人材確保」が 61.3%と最も高く、続いて「他の同業者との競争激化」が 38.7%となっている。

大規模事業者(11 店舗以上)においても「人手不足・人材確保」が 72.0%と最も高い。2 番目に「人材育成・教育」(44.0%)が高くなっている。

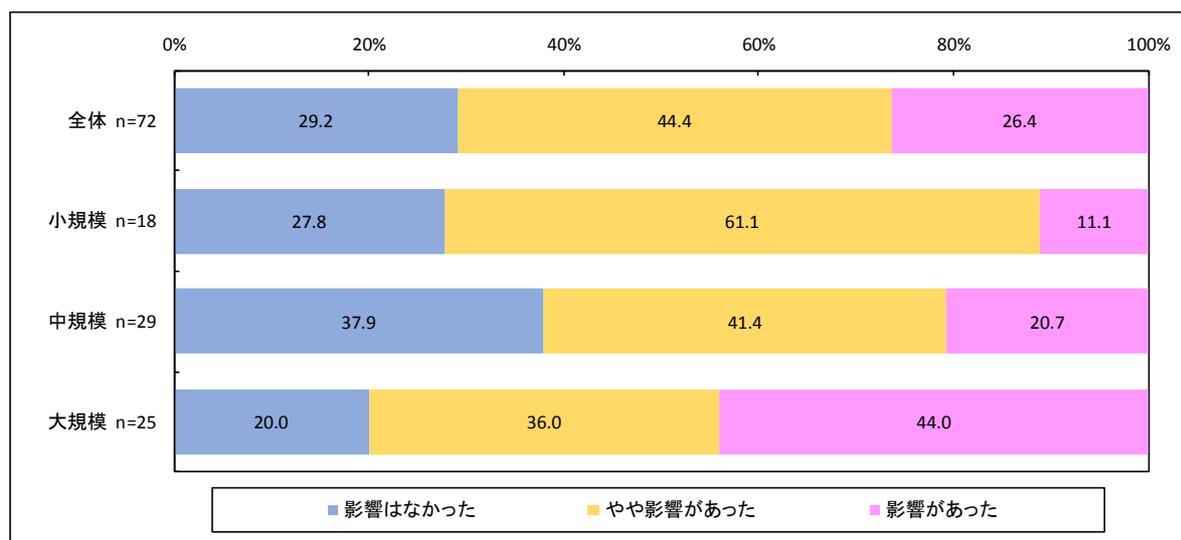
# トレンド・ウォッチ「消費増税」について

## ■2014年消費増税の影響:大規模事業者の「影響があった」が4割強

下図は2014年4月に消費税が増税された際の影響について質問した結果である。

全体では2014年4月の増税時には「少し影響があった」(44.4%)が4割強で最も高かった。続いて「影響はなかった」(29.2%)、「影響があった」(26.4%)の順で高い。

事業規模別で見ると、事業規模が大きくなるほど「影響があった」の割合が高く、大規模事業者の44.0%が「影響があった」と回答しており、「やや影響があった」(36.0%)を上回っている。

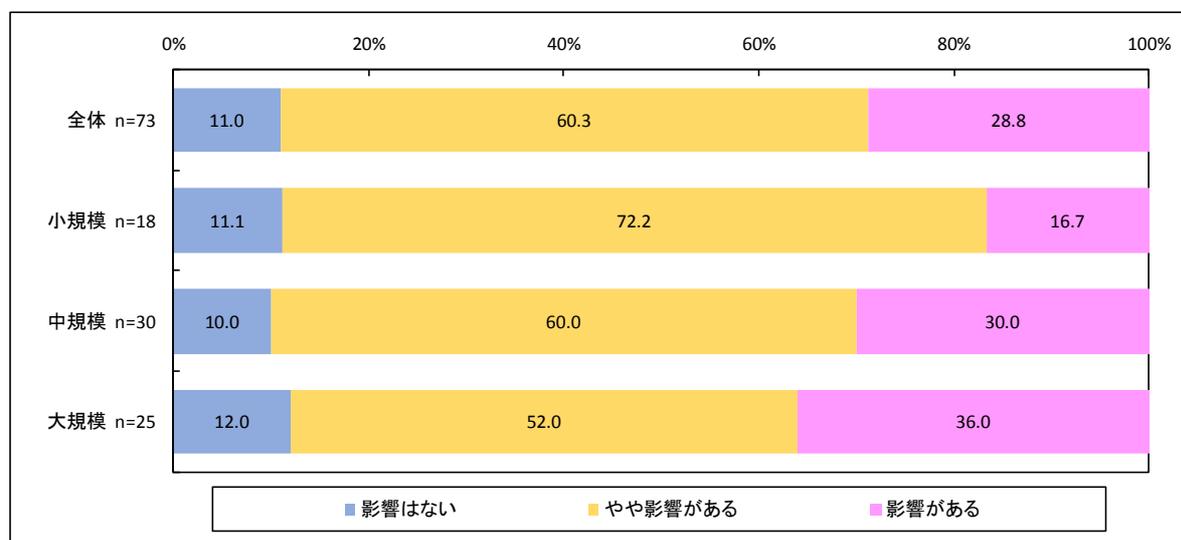


## ■2019年消費増税の影響:「影響はない」約1割、「影響がある」は規模に比例

下図は2019年10月に消費税が増税された際の影響について質問した結果である。

2019年10月に増税がされた場合の影響について「やや影響がある」(60.3%)と考えている割合が最も高く、「影響がある」(28.8%)と合わせると9割近い結果となった。「影響はない」が1割程度で、事業規模別で大きな差はないが、「影響がある」は事業規模が大きいほど回答割合が高い傾向がある。

2014年と比べて中・小規模の事業者では2019年の消費増税のほうが「影響がある」と考えている割合が高いものの、大規模事業者ではその割合が低くなっている。

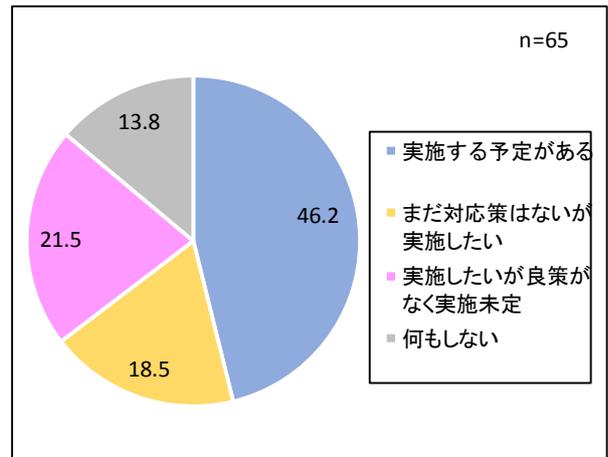


## ■消費増税への対応策:「実施予定」が4割強、「何もしない」は2割以下

右図は前問で増税の「影響がある」「やや影響がある」と回答した事業者に消費増税の対応策について質問した結果である。

「実施する予定がある」は全体の46.2%で最も高かった。以下、「実施したいが良策がなく実施未定」(21.5%)、「まだ対応策はないが実施したい」(18.5%)、「何もしない」(13.8%)の順で高くなっている。

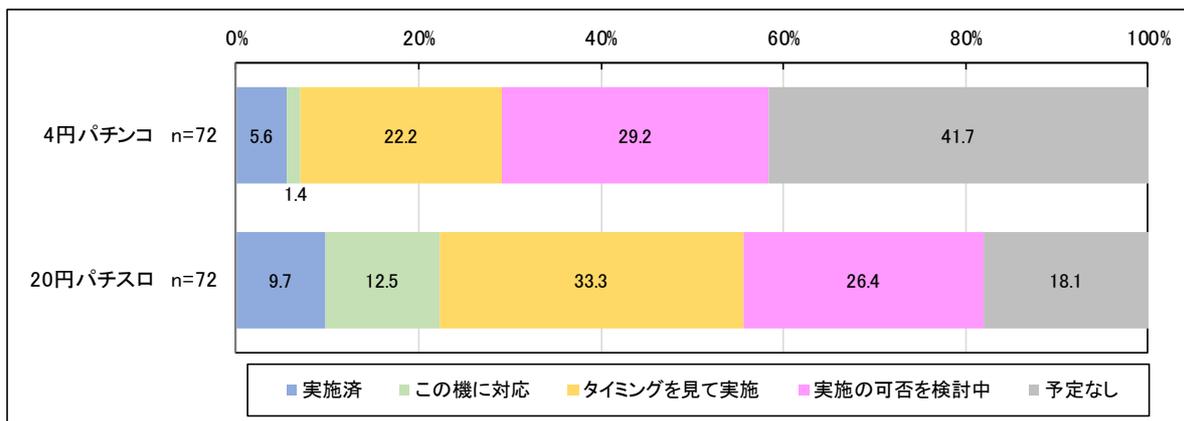
「何もしない」を除いた、8割以上の事業者が何らかの対策を考えている結果となった。



## ■遊技料金の外税化対応:4円パチンコは「予定なし」が4割以上

下図は遊技料金の外税化対応について4円パチンコ、20円パチスロ別に質問した結果である。

4円パチンコは「予定なし」(41.7%)が最も高く、20円パチスロは「タイミングを見て実施」(33.3%)が最も高い。20円パチスロは4円パチンコよりも「実施済」と「この機に対応」の割合が高く、外税化対応に積極的な動きが見られる。

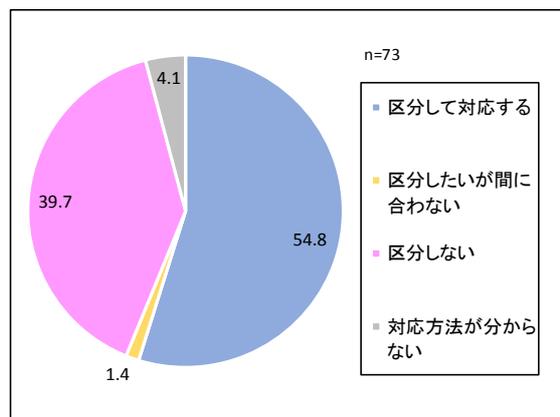


## ■軽減税率の対象となる賞品対応:「区分して対応」が5割強

右図は軽減税率の対象となる賞品対応について質問した結果である。

最も高いのは「区分して対応する」(54.8%)、2番目に高いのは「区分しない」(39.7%)となり、9月の時点で軽減税率に対して区分して対応すると回答する事業者が多かった。

なお、規模別で対応に大きな差は見られなかった。



# コメント(自由回答)抜粋

## ■「消費増税」および、現状・先行きに対するご意見

### 「消費増税」に関するコメント

#### ■影響あり派

- ◆たった 2%の増税とはいえ、遊技機購入費への上乘せや納税額を計算すると大変な金額になる。またパチンコとパチスロはゲーム性が違うものであり、それぞれ適正レートで営業が実現できないとますます業績を圧迫すると思われるので、業界として対応を検討してほしい。(近畿・小規模事業者)
- ◆前回の増税後の景気動向(1年後の急落)の経験から消費控えが増税後から始まる気がする。(中国・小規模事業者)
- ◆消費税増税に伴い遊技意欲の減少が少なからず発生する。稼働の落ち込みが心配だ。(関東・中規模事業者)
- ◆GDP で見ても消費税増税によって消費マインドも必ず下がっているのでは、低貸し層で特に大きな影響が出てくるのではないかと見ている。(中国・大規模事業者)
- ◆前回(2014 年)は増税前に消費が上昇したが、その後は急落に転じている。今回の場合は増税前から消費控えが生じているので、すでに消費が望めない状況にある。ということは遊興費まで余裕がなくなり、パチンコ店はもっと厳しい状況に置かれることになる。まして、キャッシュレスが進むのでは、遊技はできない。(中国・小規模事業者)

#### ■影響なし派

- ◆前回ほどの影響はないと考えているので、状況を見てから判断する。結果としてパチスロの遊技料金と軽減税率対象の賞品以外はそのままとする。(関東・中規模事業者)
- ◆消費税の影響は稼働・売上共に直接はないと思うが、あくまで遊技料金が内税のままであることが前提の話だ。そのためパチンコの遊技料金で外税は慎重になる。今後は遊技機の射幸性が下がることで、外税貸しや外税交換により単価を上げる店舗も増えるのだろうか。(関東・中規模事業者)
- ◆消費税は一律 10%の方が分かりやすい。(中部・中規模事業者)

#### ■増税対策について

- ◆消費増税に対して各店舗がバラバラで対応するとわかりにくくなる。全遊技場で統一してやれば一番良い。せめて都道府県別に統一できれば良いが、なかなか難しい。(関東・小規模事業者)
- ◆外税・内税・軽減税率などバラバラに対応するのではなく、組合単位で決めて対応を同一にして欲しい。(関東・小規模事業者)
- ◆すべてにおいて基本施策が存在しない業界である。消費税もしかりで、このままの現状は早く改善すべきと思う。(関東・小規模事業者)
- ◆地域ごとに、競合他社の動向を見てから動く予定で準備している。(中部・大規模事業者)
- ◆消費増税の対策について前回とは違い様子見するつもりだ。旧規準機の撤去が始まる時期なので慎重に進めていきたい。パチンコ・パチスロの新規則機の比率が増加したら考えたい。(中部・小規模事業者)
- ◆消費税の軽減税率の仕組みが難解だ。導入に事務的な導入に手続きや手間が増えて、軽減税率の導入がどれほど消費低迷の緩衝役として役に立つかは甚だ疑問に感じる。(中部・大規模事業者)
- ◆イートインのある店舗での対応が非常に曖昧なので何とかしたい(近畿・大規模事業者)

## 現状・先行きに関するコメント

- ◆都道府県別での賞品交換率の下限値の設定や一物一価の徹底、広告宣伝規制は全国统一するべきである。(北陸・中規模事業者)
- ◆消費税増税によるコスト増、Windows7 のサポート終了に伴うWindows10 への移行、Office365 への移行、新紙幣・新硬貨対応による設備投資など、利益を生まない出費が多過ぎて吐きそう。(中国・中規模事業者)
- ◆長期的に低迷が続く 4 円パチンコを 20 円パチスロが何とか支える状況がしばらく続きそう。ただ年末にかけてパチスロ旧基準機の主軸機が相次いで撤去となるため、パチスロが支える状況も年内をもって終焉を迎える公算が高い。解釈基準変更の果実を享受した、出玉の塊と増加率を両立させたパチンコ機が複数出てこない限り、ジリ貧状態が続く。さらに自社では新基準機への入替進捗率が現在 20%を超えた程度なので、これからが本当の恐怖となるだろう。(東北・大規模事業者)
- ◆12 月の高射幸性パチスロ機撤去にともなう代替機が市場にどの位供給されるのか、お客様の評価がどのようになるかが心配だ。現状のパチスロ設置台数を維持できない場合もあると考えている。(中部・中規模事業者)
- ◆他のレジャーは飛躍的な進化をしているが、パチンコはシニア層に支えられているのが現状だ。若年層に対する訴求が制限され、顧客育成を望めない今、手詰まり感が強い。近い将来 7 千軒まで減ると予想されているが、その先に何が待っているかも見通せない状況である。(近畿・大規模事業者)
- ◆遊技機の問題として特にパチスロ 6 号機ノーマルタイプの販売動向が心配だ。今の内規では市場で使用できるノーマルタイプが作れないと感じる。来年のジャグラーやハナハナシリーズの代わりとなるものがないと、収益の悪化を招くと考えている。疑似ボーナスまたは RT でどこまで受け入れられるかも疑問だ。(東北・大規模事業者)

# 調査結果概要データ(DI 値)

## ■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-37.5	-36.8	-36.8	-29.0	0.0	-33.3	-3.2	-24.0	-40.0	-20.0	-13.0	-33.3
稼働状況(パチンコ)	-68.2	-47.4	-52.6	-50.0	-33.3	-46.7	-35.7	-52.0	-52.0	-41.9	-45.5	-50.5
稼働状況(パチスロ)	-30.4	-42.1	-47.4	-12.9	-9.1	-28.1	-3.4	-10.7	-17.9	-3.7	-16.9	-26.5
資本投資気運(遊技機)	-17.9	25.0	20.8	-25.0	2.7	17.8	-6.7	3.4	20.6	-16.7	8.9	19.4
資本投資気運(その他設備)	-16.0	4.8	23.1	3.2	8.6	19.0	-3.2	-11.5	3.2	-4.6	1.2	15.2
不足感(営業用設備)	-21.7	-22.2	-26.3	-20.0	-12.5	-30.3	-17.9	-11.1	-14.8	-15.0	-10.7	-19.3
不足感(雇用人員)	-29.2	-50.0	-61.1	-50.0	-51.6	-51.6	-55.6	-56.0	-68.0	-35.5	-44.2	-48.2

## ■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-11.1	-14.3	-25.0	-7.7	-7.7	-26.9	-29.6	-5.9	-17.6
稼働状況(パチンコ)	-35.3	-45.0	-57.9	-48.0	-42.3	-42.3	-55.6	-33.3	-38.9
稼働状況(パチスロ)	-10.5	-19.0	-35.0	8.3	-18.5	-33.3	-7.4	-17.6	-29.4
不足感(営業用設備)	-11.1	-10.0	-15.0	-11.5	-7.4	-25.9	-18.5	-11.1	-22.2
不足感(雇用人員)	-23.5	-42.1	-52.6	-42.3	-55.6	-55.6	-33.3	-50.0	-55.6
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-42.9	-46.2	-53.8	-21.9	-9.7	-45.2	-20.0	-13.0	-33.3
稼働状況(パチンコ)	-57.1	-53.8	-61.5	-25.0	-56.3	-56.3	-41.9	-45.5	-50.5
稼働状況(パチスロ)	-35.7	-15.4	-23.1	6.3	-18.8	-21.9	-3.7	-16.9	-26.5
不足感(営業用設備)	-33.3	-23.1	-23.1	-9.4	-9.4	-15.6	-15.0	-10.7	-19.3
不足感(雇用人員)	-73.3	-53.8	-46.2	-28.1	-34.4	-43.8	-35.5	-44.2	-48.2

## ■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-23.8	-36.4	-21.1	-17.9	-9.7	-2.8	12.5	10.0	0.0	-10.8	-9.6	-6.0
貸出態度	-19.0	-4.2	0.0	-17.9	6.1	7.9	8.3	10.0	-3.8	-9.5	4.6	2.4
借入金利	-4.8	-13.0	0.0	-7.1	-13.8	-12.9	-8.3	-7.1	-4.0	-6.8	-11.3	-6.8

\* 全般的業況 n=109、稼働状況(パチンコ)n=109、稼働状況(パチスロ)n=109、資本投資気運(遊技機)n=74、資本投資気運(その他設備)n=74、不足感(営業用設備)n=109、不足感(雇用人員)n=109、資金繰りn=74、貸出態度 n=74、借入金利 n=73

\* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査。(株)エンタテインメントビジネス総合研究所と(株)シーズによる共同調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の4団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2019年9月12日～2019年9月26日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

[https://www.eb-i.jp/description\\_of\\_business/di/](https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/)

<http://www.sees.co.jp/>

◇回答状況：

74企業、109地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階  
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp



パチンコ業界のマーケティング  
株式会社シーズ

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F  
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 Web:www.sees.co.jp/

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2019 Entertainment Business Institute, SEES Inc. All rights reserved.